

# えほんのおへや通信



2012年12月1日(土)発行 サンガこども園

あつという間の12月。雪の絵本を紹介する時期なのに、本格的な寒さはまだまだこれからです。

**サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」12月号の紹介。**

## こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

### 「ふわふわ ぐーぐー」

たむらしげる作

黄色い毛糸玉「ニャーン」と鳴くと、ネコに早変わり。灰色の毛糸玉「チュッ！」と鳴くと、ネズミに早変わり。まあい毛糸玉から「ニャー ニャー」「チュチュチュ」と、おはなしが始まります。



## こどものとも 年少版

2～4歳向き

### 「おふろ だいきらい」

山崎克己作

ぼく、犬のオサム。お母さんとお兄ちゃんのこと、大好き。でも、今日は嫌い。だって、今日はぼくのおふろの日。



## こどものとも 年中向き

4～5歳向き

### 「どん」

坪内稔典文 / 元永定正絵 / 中辻悦子構成

黄色いどん、青いどん、赤いどん、緑のどん、せいぞろいして、くっついて……。愉快的形と鮮やかな色とが、くっついたり重なったり、にぎやかに動いていきます。



## こどものとも

5～6歳向き

### 「ただのしろいふうとう」

殿内真帆作

真っ白でなんの変哲もない「ただのしろいふうとう」は、女の子に買ってもらい、手紙をしまわれて、張りきってポストに入りました。ところが・・・。



## ちいさなながくのとも

3～4～5歳向き

### 「ゆき いちばんのり」

杉田比呂美作

雪の朝。早起きして、お父さんと散歩。道につもったまっさらな雪を踏んだり、ひくい木にこんもりとつもった雪にさわったりして遊びます。ほら、きれいな雪がここにもあそこにも……。ぜーんぶ、わたしがいちばんのり！



## 他にこんな絵本も購入しました。

### 「さんすうだいすき① どちらがおおきい？」

編著者 遠山啓

3～4歳向き

算数の基礎を楽しんで学べます！ 絵や図を楽しみながら自然に算数の準備ができるよう、ゆっくり進みます。子どもがもちやすい疑問を研究し、どの子にも理解できるようにつくられた絵本です。全10巻ですが、幼児向きは6巻まで。

①の【内容】大きさをくらべ、大きさの順、いろいろな大きさ（長い短い、高い低い、深い浅いなど）についてです。



日本図書センター

### 刊行のことば・よく遊び学べ 遠山啓

この本は、子どもたちが遊びだと思って絵を見たり、読んだりするなかで、自然と算数的な思考法というものを身につけるよう工夫してあります。どうか、たんなる子どものための絵本というだけでなく、これを読んで聞かせられる先生やおかあさんたちも、そうした眼で、ご覧になっていただきたいと思います。きっと新しい算数のみかたというものを、そこから読みとっていただければと思います。そして、遊びというものから、算数の考えを無理なく引き出すためには、やはりこのくらいの分量が必要であると考えて、非常に豊富な絵と、細かい思考の段階というものを分析した上で、小学校2年生ぐらいまでの算数を系統的に配列したわけです。（元版『解説書』の「発刊のことばとして」より抄録）

## 【雑感】

算数嫌いの小学生が増えているそうです。どんな教科でも、先天的に嫌いな子どもなどいません。先生の教える技術に一因があるのですが、算数の場合、一番多いのが分数が理解できなくて算数嫌いになり、次に文章問題を苦手にする子どもが多いようです。

小学生の段階で算数嫌いになってしまったら、高校や大学進学に際し、理科系はほとんど不可能です。進学に限らず、算数が嫌いなだけで、子どもの可能性を狭めてしまうことになってしまいます。

